



みの  
蓑

昭和時代

現在でいう<sup>あまがっぱ</sup>雨合羽のようなもので、<sup>みの</sup>蓑の原料である<sup>わら</sup>藁は水をはじくので水がしみこまないようになっています。雨だけでなく、防雪、防寒、日よけとしても使われました。

郷土資料館蔵